FUJIFILM

Wako

コードNo. 293-51601

エンドトキシン検出用

エンドトキシン検出用抽出液

使用説明書

【はじめに】
医療用器具などのエンドトキシン測定には従来水や生理食塩水による抽出法が行なわれていますが、これらの方法では必ずしも有効に抽出されないことが判って来ました。この為より高効率な方法を種々検討しました所、本処方により十分効果的な結果が得られることが明らかになりました[1) 2)]。
本品はこれまで検出が見逃されてきた医用器具や、LAL 試験に用いるディスポーザブル用具のエンドトキシン汚染の測定に有用です。

【内　　容】
エンドトキシン検出用抽出液　20 倍濃縮液
〔ヒト血清アルブミン含有（オートクレーブ滅菌済み）〕
…… 4 × 10mL
＊2 ～ 10℃保存＊

【使用方法】
1．エンドトキシン検出用抽出液の調製
本品 1 バイアル全量（10mL）をエンドトキシンフリー水 190mL と混合します。
2．使用方法
エンドトキシン検出用抽出液を一定量とり、用具等の検体を浸漬、または検体に添加し軽く撹拌した後、約 1 時間室温で放置します。再び軽く撹拌し、抽出されたエンドトキシンを測定します。

【使用上の注意】
1．本品はエンドトキシンフリー水で希釈して下さい。
2．操作は無菌的に行い、エンドトキシンの二次汚染に注意して下さい。
3．用具等の検体を取り出す必要がある場合は 250℃、2 時間乾熱滅菌したピンセット等を用い、抽出液が汚染しないように注意して下さい。
4．用具等の検体のエンドトキシン抽出・洗浄を行う場合、検体全体が本品により濡れるようにして下さい。
5．本品は泡立ちやすいので、リムルス試験を行う場合、泡が入らないように注意して下さい。
6．本品は記載された目的以外の用途に使用しないで下さい。

【参考文献】
1）井上勝仁、高岡文、土谷正和、松浦脩治：日本動物実験代替法学会第 6 回大会要旨集，110（1992）.
2）井上勝仁、原田和明、土谷正和、松浦脩治：日本防菌防黴学会第 21 回年次大会要旨集，44（1994）.

製造元
富士フイルムヘルスケア
マニュファクチャリング株式会社
三重県三重郡菰野町大字大強原2613-2

販売元
富士フイルム 和光純薬株式会社
大阪市中央区道修町三丁目1番2号
Tel：06-6203-3741

2303KA2